

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和7年度 滋賀県がん診療連携協議会 第36回 地域連携部会																																																						
開 催 日 時	令和7年7月2日(水) 16：00～16：30																																																						
開 催 場 所	大津赤十字病院外来棟6階会議室、オンライン（Zoom）のハイブリッド形式																																																						
出 席 者	【部会員】 <table><tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 将公（部会長）</td></tr><tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>村田 聡 （副部会長）</td></tr><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>吉田 徹 （副部会長）</td></tr><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>辻森 弘容</td></tr><tr><td>公立甲賀病院</td><td>石川 原</td></tr><tr><td>東近江総合医療センター</td><td>赤堀 浩也</td></tr><tr><td>滋賀県歯科医師会</td><td>島 将人(代理：中瀬 一輝)</td></tr><tr><td>滋賀県保健所長会</td><td>小林 靖英</td></tr><tr><td>滋賀県歯科衛生士会</td><td>新 康子</td></tr><tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>野崎 安美</td></tr><tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>時田 幸世</td></tr><tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>南 芽似</td></tr></table> 【事務局】 <table><tr><td>大津赤十字病院</td><td>堀井 久子</td></tr><tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>河田 優子</td></tr><tr><td>大津赤十字病院</td><td>森田 美砂</td></tr><tr><td>彦根市立病院</td><td>崎久保 守人</td></tr><tr><td>市立長浜病院</td><td>上田 修吾</td></tr><tr><td>高島市民病院</td><td>渡邊 武志</td></tr><tr><td>市立大津市民病院</td><td>中尾 光成</td></tr><tr><td>淡海医療センター</td><td>戸川 剛</td></tr><tr><td>済生会滋賀県病院</td><td>増山 守</td></tr><tr><td>近江八幡市立総合医療センター</td><td>中野 且敬</td></tr><tr><td>長浜赤十字病院</td><td>原田 吉將</td></tr><tr><td>滋賀県医師会</td><td>樋上 雅一</td></tr><tr><td>滋賀県薬剤師会</td><td>池田 富美子</td></tr><tr><td>滋賀県看護協会</td><td>黒橋 真奈美</td></tr></table> ※ は令和7年度より新規部会員			大津赤十字病院	辻 将公（部会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 （副部会長）	滋賀県立総合病院	吉田 徹 （副部会長）	滋賀県立総合病院	辻森 弘容	公立甲賀病院	石川 原	東近江総合医療センター	赤堀 浩也	滋賀県歯科医師会	島 将人(代理：中瀬 一輝)	滋賀県保健所長会	小林 靖英	滋賀県歯科衛生士会	新 康子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	野崎 安美	滋賀県健康医療福祉部	時田 幸世	滋賀県立総合病院	南 芽似	大津赤十字病院	堀井 久子	滋賀医科大学医学部附属病院	河田 優子	大津赤十字病院	森田 美砂	彦根市立病院	崎久保 守人	市立長浜病院	上田 修吾	高島市民病院	渡邊 武志	市立大津市民病院	中尾 光成	淡海医療センター	戸川 剛	済生会滋賀県病院	増山 守	近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬	長浜赤十字病院	原田 吉將	滋賀県医師会	樋上 雅一	滋賀県薬剤師会	池田 富美子	滋賀県看護協会	黒橋 真奈美
大津赤十字病院	辻 将公（部会長）																																																						
滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 （副部会長）																																																						
滋賀県立総合病院	吉田 徹 （副部会長）																																																						
滋賀県立総合病院	辻森 弘容																																																						
公立甲賀病院	石川 原																																																						
東近江総合医療センター	赤堀 浩也																																																						
滋賀県歯科医師会	島 将人(代理：中瀬 一輝)																																																						
滋賀県保健所長会	小林 靖英																																																						
滋賀県歯科衛生士会	新 康子																																																						
滋賀県がん患者団体連絡協議会	野崎 安美																																																						
滋賀県健康医療福祉部	時田 幸世																																																						
滋賀県立総合病院	南 芽似																																																						
大津赤十字病院	堀井 久子																																																						
滋賀医科大学医学部附属病院	河田 優子																																																						
大津赤十字病院	森田 美砂																																																						
彦根市立病院	崎久保 守人																																																						
市立長浜病院	上田 修吾																																																						
高島市民病院	渡邊 武志																																																						
市立大津市民病院	中尾 光成																																																						
淡海医療センター	戸川 剛																																																						
済生会滋賀県病院	増山 守																																																						
近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬																																																						
長浜赤十字病院	原田 吉將																																																						
滋賀県医師会	樋上 雅一																																																						
滋賀県薬剤師会	池田 富美子																																																						
滋賀県看護協会	黒橋 真奈美																																																						
欠 席 者																																																							
事務局	【議事概要】 1. 新規部会員の紹介 令和7年度新規部会員となった上記 部会員より自己紹介。 2. 滋賀県がん地域連携パス運用状況について 登録件数について 【資料 1-1】 参照 2010年4月～2025年3月末のがんパス運用登録一覧表になっております。 現在までにバリエーションや5年経過し、パス運用が終了しているものも含まれるが、																																																						

部会長 辻森 事務局 部会長	合計3,414件登録されております。 次に年度別にグラフ化したものが【資料1-2】になります。 2024年度は全体の登録件数は165件となり、2023年度を除き2017年度以降は減少傾向にあります。 次にがん種別詳細が【資料1-3】になります。 前年度と比較し、大腸がん（進行期）パスが62件→37件、乳がんパスが26件 → 18件、前立腺がんパスが14件 → 3件と減少しております。その他のパスはほぼ前年度と同じ件数となっております。ただ、肝臓がん・緩和ケアパスは運用されておられません。 次に施設別登録件数が【資料1-4】になります。 前年度と比較し、10件以上減少しているのは、大津赤十字病院、市立長浜病院、でした。なお、滋賀県立総合病院・高島市民病院・市立大津市民病院は登録件数が0件でした。 ・【資料1-1】各病院ごとの累積の登録件数です。長浜赤十字病院は1,000件超の登録があります。ありがとうございます。 ・【資料1-2】2023年度に一旦パス件数は増加しましたが、2024年度は前年度比較30件減少しています。 ・【資料1-3】に上記【資料1-2】の主な原因が大腸がん(進行期)が約30件減少しています。胃がん、大腸がん(早期)については増加しています。これについて今のところはっきりした理由が思い当たりません。乳がんは2024年度少し減少していますが、過去3ヶ年を見てもみますと、それ以前と比較し増加している状況です。前立腺がんは元々件数が少なく、2023年度が多かったのか、2024年度は減少し、その差が多く出ております。 ・【資料1-4】大津赤十字病院が25件→12件と減少しており反省点であります。減少した理由を現在、考えているところです。 ・滋賀県立総合病院もパス件数が増えていないことが課題となっております。昨年度の議事録を見ていると、なぜパス件数が増えないのか現状調査が必要とされていたと思います。当院はその調査が出来ていない現状がありますが、原因を考えていかないと件数を増やすことは難しいと思います。 →同意見であります。減少した理由、増えない理由がパス自体にあるのか、疾患そのものの特異性なのか。特に肺がんは適用が狭いと聞いております。肝がんはパスにのる症例ではないのかなとWGでは話が出ていたようです。また、開業医の先生方がパスについて、どのようなお考えがあるのか。広く考えていかないと登録が伸びていかない理由が分らないです。考えられることを事務局と探っていきたいと思っております。
---	---

事務局	バリエーション件数(5年経過・パス中止件数)について【資料1-5】参照 5年経過したものは1,330件、バリエーションとなりパス中止したものは、815件と全体の23.9%となっています。 その内件数の多い胃がん・大腸がんで、「早期」「進行期」に分けたのが【資料1-6】になります。 胃がん進行期パスの中止率43.2%と早期の約倍と非常に高くなっております。 胃・大腸ともにパス中止までの平均日数は、早期パスが長く、進行期がんパスはその約半分の日数となっています。 次に中止理由をより詳細に分けたものが、胃がんは【資料1-7】大腸がんは【1-8】になります。 胃がん早期パスについては、“患者・家族の都合”と“通院困難”が約1/3を占めており、この原因として考えられるのは、早期がんの場合、数年間、術後フォローで問題なく過ごされるとパススケジュールに則った受診をされなくなる患者さんが一定数存在すると思われます。また、患者さん・ご家族の高齢化に伴い通院が困難となる場合も見受けられます。 また、進行期パスは、「再発・転移」がもっとも多くを占めています。 次に大腸がんパスですが、胃がんパス同様に早期パスは“、患者・家族の都合”と“通院困難”が約1/3を占めています。進行期パスは「再発・転移」が半数を占めております。 以上が滋賀県がん地域連携パスの昨年度実績報告になります。
部会長	・【資料1-5】中止割合は、おおむね前回と同様23.4% 約1/4が中止となっています。 ・【資料1-6】内訳として約半数強が再発・転移、死亡、別疾患による理由は、仕方がない事と思います。通院理由、患者・家族による理由が1/3強は、なんとかなる問題かと思っています。 ・【資料1-7】※資料訂正：胃【理由】平均日数に誤り。後日に訂正資料を配布させて頂きます。過去のデータと比較し、おおむね同様の件数でありました。 ・【資料1-8】大腸【理由】におきましても同様に死亡、再発がかなり多くを占めております。致し方ない理由が約半数あり、通院理由はもう少しなんとかならないのかと考えております。
事務局	3.地域連携部会 今年度活動について 今年2月に開催しました当部会でご提示しておりますが、今年度のPDCAチェックリストとアクションプランになります。 ・PDCAチェックリストについて【資料2-1】 PDCAチェックリストは、Planを連携パス件数でDoを地域連携パスの活用としております。

部会長	・アクションプランシートについて 【資料2-2】 参照 アクションプラン目標として、がんパスの登録件数を年間目標と同じ200件とし おります。また、パスの利用件数が減少しており、原因の分析が今年度の課題と 考えております。 令和7年度の実施計画としては、部会等の予定を載せています。 ・【資料2-2】アクションプランシートについて 今年度の地域連携パスの活用件数を 200件として、一昨年レベルまで持って行きたい。また、緩和ケアパスの見直し を予定しています。 会議の開催は、5大がんパスWGを2回、前立腺がんパス1回、緩和ケアパス1回開 催予定としています。
野崎	・パスの件数が減少してきた理由について分析を進めて参りたいと思います。 →初めての参加なので感想を述べさせていただきます。非常にコンパクトに資料をま とめて頂き、説明も良く分かりました。パス自体が減少しているのは、パスを 必要でないと思っていらっしゃる医師が多いのか、早期発見になってパスが必 要でなくなって来ているのか、パス自体が使い辛いのか、いろいろな理由があ ると思います。ぜひ分析を十分にさせて頂いた、次年度に繋げて頂きたいと思 います。
部会長	→ありがとうございます。大変貴重なご意見だと思います。数字として情報共有 をしていることも一つの目的にはなります。今年に関しては、パスを患者さま にどのように還元し、使用して頂くのかを考えていきたいです。パスを有効に 使えるよう考える中で、この疾患ではパスに乗せるのは難しいとか、ある程度 はあると思います。どのパスをどの疾患に使用していくのが良いのかを分析し ながら、有効なものにしていきたいと思います。これまでは、とにかくパスを 使用しましょうと件数を増やす方向で運用してきたと思います。現状として、 200～100件程度で推移しており、これからは質に対して評価し、こだわってい きたいと考えております。それには仰っていただいた分析が必要と考えており ます。皆さまには貴重なご意見ご協力を頂きたいと思います。宜しくお願いし ます。 4.その他 その他ご意見がないようですので、これで終了させていただきます。 ありがとうございました。

以上のとおり報告します。

令和7年7月4日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

地域連携部会 部会長 辻